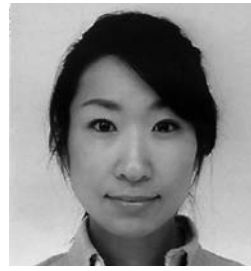


町民の広場



職業 農業
篠原 光枝 さん
(36歳)

容姿端麗な羊蹄山や二七コ連邦が織りなす雄大な景色、多種多様な生き物など、枚挙にいとまがないほど倶知安町には多くの魅力があります。私は6年程前にそんな倶知安に魅せられ移住し、縁あって代々続く米農家に嫁ぎ、地域の方々の支えをいただきながら夫婦ふたりで農作業に勤んでいます。

農作業中、ふとこの地を開墾した先人たちに思いを馳せることがあります。120年以上前に本州から入植し、厳しい自然と闘いなが

ら原生林を切り拓き、倶知安の礎を築いた人々。それは想像を絶する苦難であったことと思います。そして豊かな実りをもたらす豊かな農村地帯となった今、先人たちが作り上げたその風景もまた、人々を魅了する景色のひとつとなつていっているのではないのでしょうか。

昨今、倶知安は観光関連の開発が目覚ましく、今後は新幹線の開通も相まってさらなる変化が見込まれ、様々な問題が浮き彫りになってくることと思えます。地元民の生活を

守り向上させながら、住民にも観光客にも長く愛されるような未来の倶知安をどのように創っていくのか。大事なのは変化を受け入れる適応させていく部分と、変化にとらわれず守つていかなければならない部分を見極めて対応していくことではないかと考えます。

そして、先人から受け継ぎ守られてきた田畑と、かけがえのない豊かな自然環境をいかにして次の世代に引き継いでいくのか、行政や民間、個人がそれぞれの責務を担い、協力して取り組んでいく必要があると思っております。

(原文のまま)

議長室からこんにちは

うらかな日差しが心地よいこのごろ、皆様にはご健勝のことと、お喜び申し上げます。

新規採用の皆さん、異動となった皆さん、若葉のように「さー頑張ろう」と両手を太陽に向けてるように、役場は躍動感にあふれています。

私もそんな皆さんと一緒に仕事を出来ることは、この上ない幸福感を味わえます。

第1回定例議会において平成30年度予算をはじめ多くの議案が審議されました。

今回の議会では、G20閣僚級会合の誘致について多くの議論が交わされ、関連する議案も可決されました。その中で「議長に対し自重自戒を求める決議」の動議が出され可決されました。町長と一体化した誘致行為や議会協賛に欠けていたところに議長の立場・職務を正すといったものです。

(議会、だより・特集2をご覧ください。)

私としては会派の皆様にも丁寧とその都度、経過等を説明してまいりましたが、結果的に説明努力が不足していたのかと、反省をしております。

未来に輝く倶知安町、住んでいる誰もが「いいまち」と誇りを持てる町を私は更に皆さんと力を合わせて創ります。

G20観光大臣会合、世界中から倶知安は注目されます。

倶知安町議会議長

鈴木 保昭

